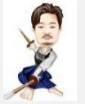




このQRコードからHPを見ることが出来ます。



◆ 学校のいじめ、犯罪行為は警察へ通報

文部科学省は2023年2月7日、各都道府県の教育委員会等へ「いじめ問題への的確な対応に向けた警察との連携等の徹底について」を通知しました。**学校で起こり得る犯罪行為 19 事例**を掲載。犯罪にあたる重大ないじめ事案は、直ちに相談・通報を行うよう再度要請がありましたので、お知らせします。

警察に相談又は通報すべきいじめの事例



暴行



傷害



強制わいせつ



恐喝



窃盗



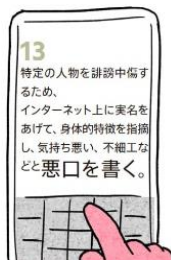
器物損壊等



強要



脅迫



名誉毀損、侮辱



私事性的画像記録提供



自殺関与



児童ポルノ提供等



児童ポルノ提供等



児童ポルノ提供等

文部科学省 令和5年2月7日

いじめ問題への的確な対応に向けた警察との連携等の徹底について(通知)より

文部科学省が示した

犯罪に該当しうる悪質いじめ19事例

イラスト/志水恵美

上のイラストは、広く知られてほしいと、イラストレーターの志水 恵美さんが描かれたものです。わかりやすいですね。これまで以上記のような事例でも、生徒指導の範囲内と捉えて、学校内で対応していたり、警察との連携をためらったりすることが多かったため、今回、文部科学省が「犯罪に該当しうる悪質いじめ 19 事例」を示して、**警察との連携を徹底**することを周知されました。今回示されたのは特に「犯罪に該当する」事例、つまり、刑法に抵触する可能性が高い事例です。

橘小も各関係機関とさらに連携を深めながら、「イジメ、ダメ、ゼッタイ」を進めていきます。

◆ ココロねっこ運動強調月間

今月は「長崎県ココロねっこ運動強調月間」です。

ところで、「ココロねっこ運動」ってご存知ですか？



ココロねっこ運動とは

子どもたちの心の根っこを育てるために、大人のあり方を見直し、みんなで子どもを育てる長崎県の県民運動です。

また、長崎県ではあいさつ運動や地域で子どもを見守る活動など、子どもの健全育成のための取組を「ココロねっこ運動」として推進しています。

平成13年度からスタートした運動で、平成20年10月には「長崎県子育て条例」の中で県民運動として取り組むことが定められました。

大人が変われば子どもも変わる ～大人のあり方を見直す～

子どもは、親や身近な大人を成長のモデルとします。モデルである私たち大人が、ルールやマナーを軽視したり、人間関係のわずらわしさから他者と関わらずに生活したりしようとするのは、子どものよき手本となることでしょうか？

「子どもは社会を映す鏡」です。もし、子どもに問題があるとすれば、それは大人自身の問題として考えてみる必要があります。

できることから、大人から

子どもの育ちには、家庭が果たす役割が重要であることから、第3日曜日を標準日として、家族が子どもを中心としたふれあいを深める日としての「家庭の日」が広がるよう努めています。

※長崎県青少年育成県民会議のホームページから引用

そこで各御家庭では、皆さん御存知の「あ・は・は運動」を意識した取組をお願いします。（長崎市が幼・保・小・中一貫して取り組んでいることです。）橘小では、さらに「は」を足した

「あ・は・は・は運動」に取り組んでいます。

あ…あいさつ・へんじ 元気よく！

は…はやね・はやおき・あさごはん！

は…はきものそろえ いい気持ち

は…はさみあるきをしっかりと！

子どもたちが安心して生活できるための「心理的安定性」は、お互いに「相手」を意識することから！

いろんな年齢の子どもたちが、共同生活する学校というところで、まわりの人を思いやる気持ちが大切ですね！

※波線は昨年度から取り組んでいることです！

橘に吹く風



報告が遅くなりましたが、11月12日（水）に4年1組が合奏「青と夏」、4年2組が斉唱「世界がひとつになるまで」を小学校音楽会で見事に発表しました。インフルエンザの罹患率が増え始めていたので心配していたのですが、何とかどちらのクラスも参加することができました。当日は両担任がインフルエンザで急遽参加ができなくなり、指揮者不在の状態でピンチだったのですが、それまでの練習がしっかり仕上がっていたこと、今年から「となりのクラスをつくらない」を合言葉にチーム担任制を実施していたため、練習にチームで関わっていたことで、急なピンチにも対応できたことが大きな成果でした。そして、何よりもピンチをものともせず、立派に代表としての役割を果たした4年生に拍手でした！

宮原のつぶやき

今年度はインフルエンザ感染症が早い時期に流行すると言われていましたが、いよいよ猛威を振るい始めました。先週の金曜日にはついに長崎市内小中学校で800人を超え、学級閉鎖や学年閉鎖が相次いでいます。インフルエンザはかつて「人生の幕をひく病気」と言われ、体力がない幼児や御高齢の方の命を奪っていったことを考えると、決して油断はできません。

病院も混雑しており、これからますます増えそうです。インフルエンザウイルスは、主に「咳やくしゃみのしぶき（飛沫感染）」や「ウイルスがついた手で口や鼻を触る（接触感染）」によって広がります。「換気」「手洗い」「うがい」を徹底して、睡眠をしっかりととり、「早寝・早起き・朝ごはん」で、規則正しく生活することで、抵抗力をつけて、健康を維持していきましょう！また、三密（密閉・密集・密接）を避けて、咳エチケットとマスクの着用を積極的に行いましょう！



健康第一！